

第142回 理学部コロキウム

2011年東北地方太平洋沖地震の海底断層崖の発見 ～有人潜水艇を用いた日本海溝底のフィールド調査～

理学部 地質科学プログラム 植田勇人

日時：10月23日（水）16:30～17:40（紹介・質疑応答含む）

場所：理学部B303講義室（対面方式です）

講演概要

3.11の甚大な津波災害は、沈み込む太平洋プレートとの境界がずれた断層運動が日本海溝に達し、短時間に海底の地形を大きく変えたことが原因と考えられています。しかし水深7500 mを超える日本海溝は当時どの潜水艇も到達できない超深海であったため、震災後10年以上の間、誰も海底の様子を直接観察できませんでした。演者は2022年にこの深度を超えて潜れる最新の潜水艇に乗り3.11震源域の日本海溝底を調査する機会に恵まれました。その結果、プレート境界断層が海底をずらした跡と考えられる崖が見つかりました。講演では、調査の様子や結果から考えられる地震時の海底の動きについてお話しします。

問い合わせ先：長束俊治 (natsuka@bio.sc.niigata-u.ac.jp)